

<年2回決算型・為替ヘッジあり>

第6期末 (2024年11月18日)	
基準価額	4,240円
純資産総額	122百万円
騰落率	△12.1%
分配金	0円

<年2回決算型・為替ヘッジなし>

第6期末 (2024年11月18日)	
基準価額	6,692円
純資産総額	100億円
騰落率	△10.0%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

グローバル・デジタル ヘルスケア株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり) (年2回決算型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2024年5月21日～2024年11月18日

第6期 (決算日 2024年11月18日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)／(年2回決算型・為替ヘッジなし)」は、このたび第6期の決算を行いました。

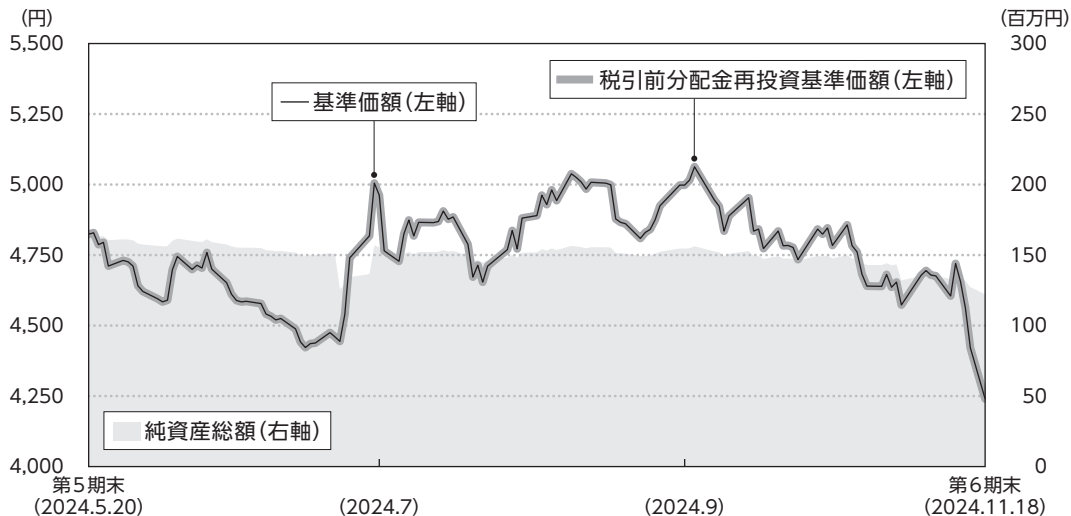
各ファンドは、「グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2024年5月21日～2024年11月18日

基準価額等の推移



第6期首	4,824円	既払分配金	0円
第6期末	4,240円	騰落率(分配金再投資ベース)	△12.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・7月前半に、インフレの落ち着きを受けて米連邦準備制度理事会（FRB）による年内利下げ観測が再燃したことや、生成人工能（AI）の成長を支える半導体企業の決算発表が好感され株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・8月上旬に、米サプライマネジメント協会（ISM）製造業景況感指数や米雇用統計の悪化により、米景気後退懸念が高まったことや日銀の利上げと植田日銀総裁の金融引き締め姿勢を受けて円キャリートレード（円借り取引）が縮小するとの見方からセンチメント（市場心理）が悪化し、日本株をはじめ株価が下落したこと
- ・当期末に保有銘柄の決算内容が市場予想を下回ったことから株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	45円	0.946%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は4,754円です。
(投信会社)	(22)	(0.466)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.466)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.050	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.050)	
有価証券取引税	2	0.045	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.045)	
その他費用	1	0.022	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.004)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	51	1.063	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

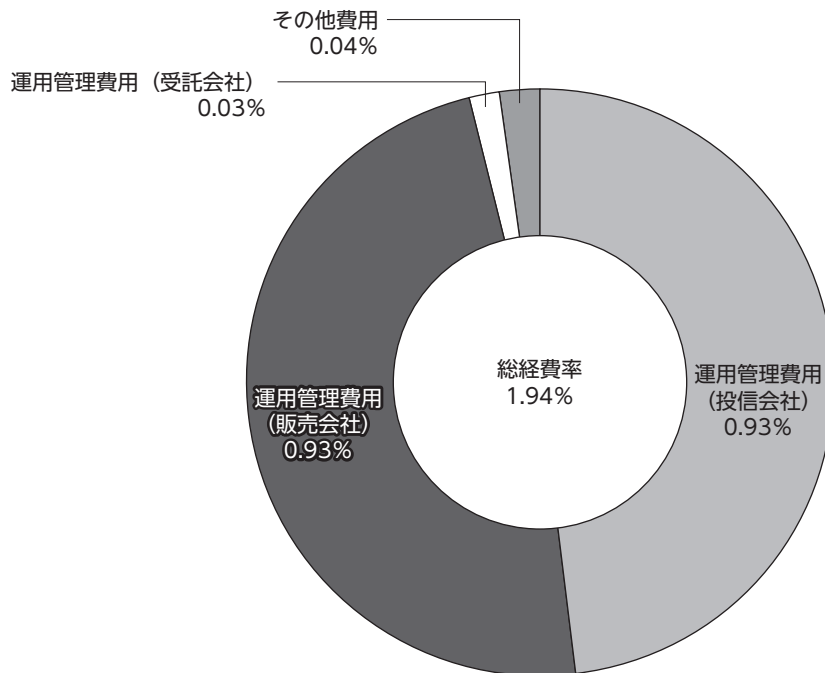
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.94%**です。



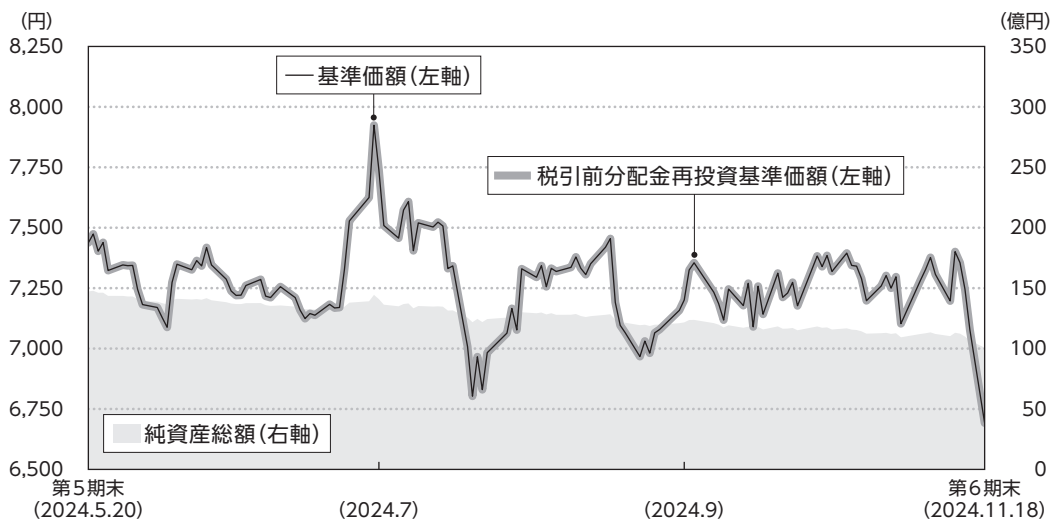
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第6期首	7,438円	既払分配金	0円
第6期末	6,692円	騰落率(分配金再投資ベース)	△10.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・7月前半に、インフレの落ち着きを受けてFRBによる年内利下げ観測が再燃したことや、生成AIの成長を支える半導体企業の決算発表が好感され株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・8月上旬に、米ISM製造業景況感指数や米雇用統計の悪化により、米景気後退懸念が高まったことや日銀の利上げと植田日銀総裁の金融引き締め姿勢を受けて円キャリートレードが縮小するとの見方からセンチメントが悪化し、日本株をはじめ株価が下落したこと
- ・当期末に保有銘柄の決算内容が市場予想を下回ったことから株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	69円	0.946%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,269円です。
(投信会社)	(34)	(0.466)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(34)	(0.466)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	4	0.050	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(4)	(0.050)	
有価証券取引税	3	0.044	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(3)	(0.044)	
その他費用	1	0.014	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.011)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	77	1.054	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

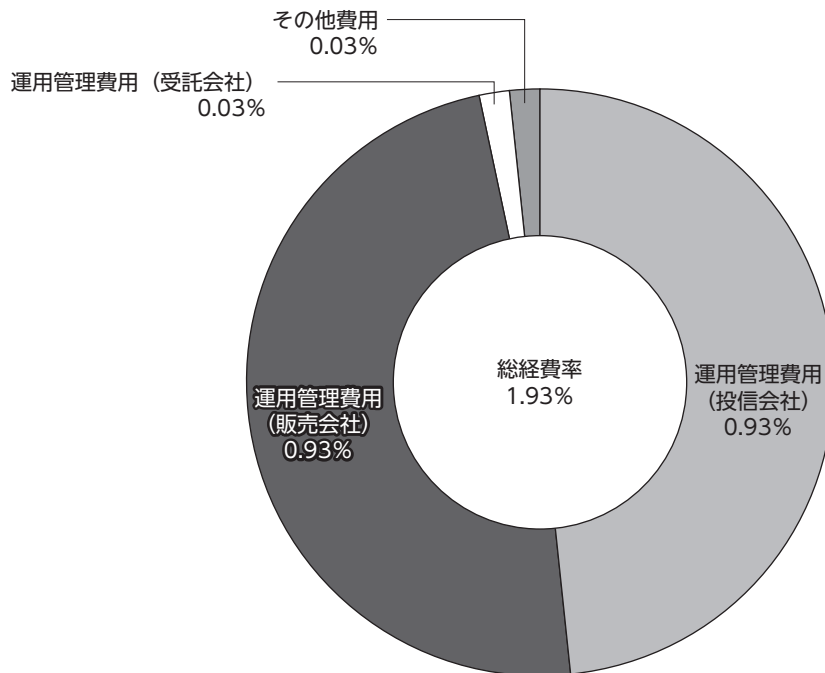
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.93%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

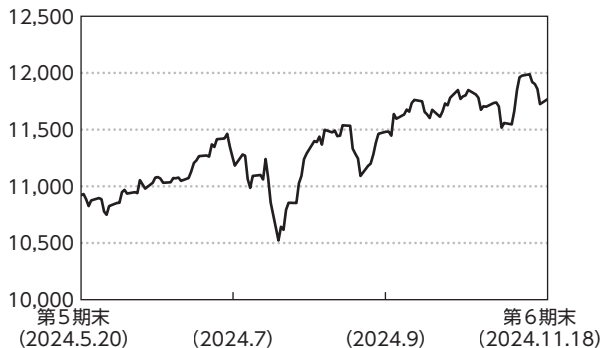
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス (配当込み、米ドルベース)の推移】

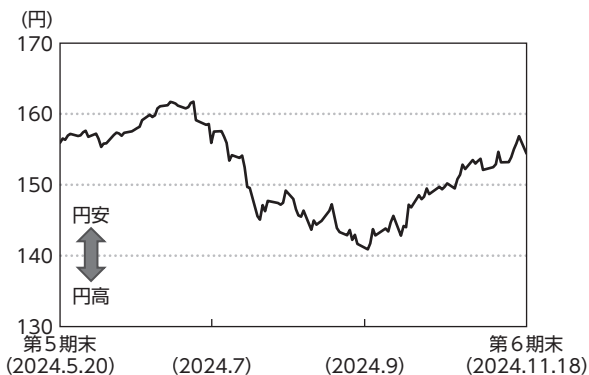


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じてみると上昇しました。期初から7月上旬にかけては、インフレの落ち着きを受けてFRBによる年内利下げ観測が再燃したことや生成AIの成長を支える半導体企業の決算発表が好感され株価は上昇しました。8月上旬に発表された米ISM製造業景況感指数や米雇用統計の悪化により、米景気後退懸念が高まったことや日銀による利上げと植田日銀総裁の金融引き締め姿勢を背景に円キャリートレードが縮小するとの見方からセンチメントが悪化し、日本株式市場が急落したことが株価の下落につながりました。当期末にかけては、欧米中央銀行による利下げや中国政府の景気刺激策および不動産市場支援策の発表、米大統領選で勝利したトランプ氏の減税、規制緩和等の政策への期待感などから株価は上昇しました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円レートは期を通じてみると米ドル安円高となりました。

期初以降、日銀金融政策決定会合で金融引き締めへ慎重な姿勢が示されたことなどから日米金利差が高い水準にとどまるとの見方が強まり、米ドル高円安基調で推移しました。7月から9月中旬にかけては、米消費者物価指数(CPI)でインフレの落ち着きが確認されたことを受けて、利下げ観測が高まったことなどから米ドル安円高基調となりました。9月下旬から当期末にかけては、米連邦公開市場委員会(FOMC)で利下げが決定されたものの、将来の利下げ幅が限定的となるとの見方が高まったことや、米大統領選でトランプ氏が勝利し、米国の財政拡張や関税引き上げ等に伴うインフレ再燃が意識され米金利が上昇したことなどから、米ドル高円安基調となりました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。なお《年2回決算型・為替ヘッジあり》については、実質組入外貨建資産において原則として対円での為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図りました。

■マザーファンド

日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における成長分野別配分は組入比率の高い順に、高度診断(30.9%)、ヘルスビッグデータ(29.1%)、健康寿命の延伸(24.5%)、標的療法(15.4%)としています。

また、当期末におけるサブセクター別配分は組入比率の高い順に、ヘルスケア機器・用品(34.9%)、ライフサイエンス・ツール／サービス(28.0%)、ヘルスケア・テクノロジー(16.5%)としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、アメリカ(82.9%)、ドイツ(5.2%)、スイス(3.6%)としています。

(注1) 比率は対組入株式等評価額比です。

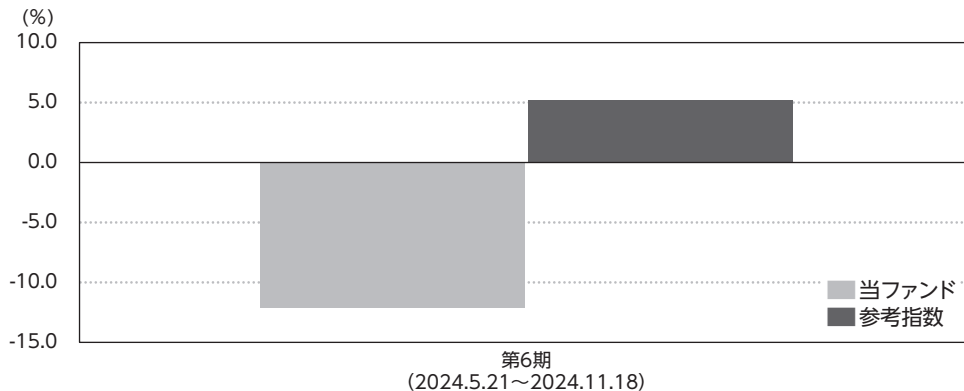
(注2) 成長分野はラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーの分類によるものです。

(注3) サブセクターはGICS分類(産業)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

参考指数との差異

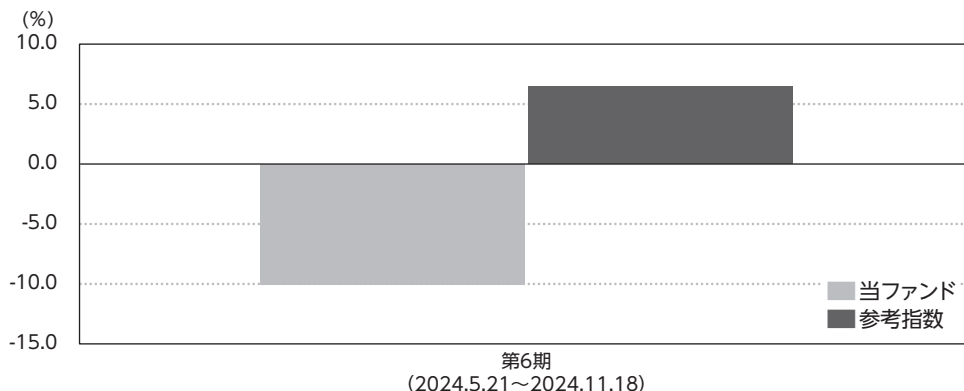
■年2回決算型・為替ヘッジあり



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-12.1%となり、参考指数騰落率（+5.2%）を下回りました。これはマザーファンドにおいて、ヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことなどによるものです。

■年2回決算型・為替ヘッジなし



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-10.0%となり、参考指数騰落率（+6.5%）を下回りました。これはマザーファンドにおいて、ヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことなどによるものです。

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

(注3) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

分配金

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年5月21日～2024年11月18日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	32円

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年5月21日～2024年11月18日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	24円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお《年2回決算型・為替ヘッジあり》については、実質組入外貨建資産において原則として対円で為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■マザーファンド

米国では景気の底堅さを示す経済指標の発表を受け、大幅利下げ観測が後退しています。これを受けて米金利が上昇傾向にあることや、高金利水準が長期間継続することによるコスト増加への懸念などが株式市場の重荷となっています。なお、ヘルスケア関連銘柄については7月以降、株式市場全体を上回る水準で上昇してきたことなどから現在売り圧力が強まっていると考えます。また、足元では企業の決算発表時期を迎えており、その内容に株価が大きく反応する場面も見られています。

先進国における少子高齢化などを背景として、世界的にヘルスケア関連の支出額が持続不可能と思われる水準に達してきていることもあり、こうした課題を解決するためにヘルスケア産業におけるデジタル化という大きな流れは今後も進むと考えています。

当マザーファンドでは、今後も革新的な製品・サービスの創出が期待されるデジタルヘルスケア企業への投資を継続します。従来のヘルスケア産業とデジタルテクノロジーが融合することで新たな巨大市場が切り開かれると考えており、引き続き、従来のヘルスケア産業に大きな変革をもたらし、社会的課題の解決に貢献していくと期待される「ヘルスビッグデータ」、「高度診断」、「標的療法」、「健康寿命の延伸」の4つの成長分野に着目し、各成長分野において中長期的な成長が期待される銘柄を厳選して投資します。なお、注目する4つの成長分野の組入比率は各々20~40%程度を目安として運用を行います。

ファンドデータ

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

	第6期末 2024年11月18日
グローバル・デジタルヘルスケア 株式マザーファンド	103.8%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

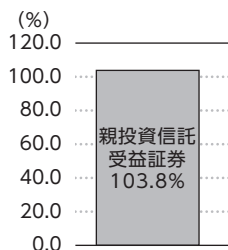
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

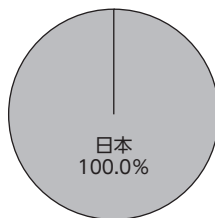
項目	第6期末 2024年11月18日
純資産総額	122,070,754円
受益権総口数	287,926,066口
1万口当たり基準価額	4,240円

(注) 当期間中における追加設定元本額は30,728,540円、同解約元本額は83,492,574円です。

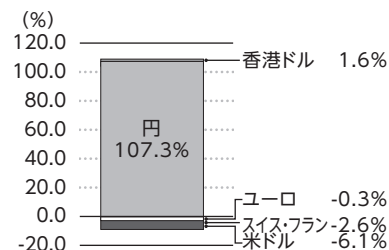
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年11月18日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第6期末 2024年11月18日
グローバル・デジタルヘルスケア 株式マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

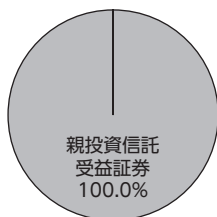
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

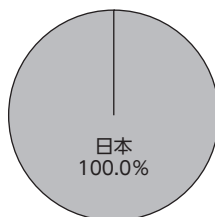
項目	第6期末 2024年11月18日
純資産総額	10,068,584,021円
受益権総口数	15,045,236,569口
1万口当たり基準価額	6,692円

(注) 当期間中における追加設定元本額は49,420,941円、同解約元本額は4,802,424,086円です。

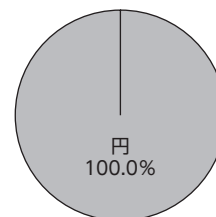
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年11月18日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

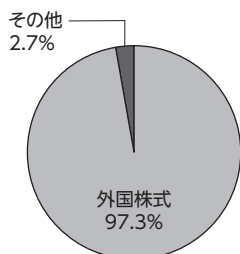
銘柄名	通貨	比率
LANTHEUS HOLDINGS INC	米ドル	5.7%
SCHRODINGER INC	米ドル	5.4
DOXIMITY INC-CLASS A	米ドル	5.2
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	米ドル	5.1
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	米ドル	4.5
EXACT SCIENCES CORP	米ドル	4.5
IQVIA HOLDINGS INC	米ドル	4.2
DEXCOM INC	米ドル	4.0
LONZA GROUP AG	スイス・フラン	3.5
CRISPR THERAPEUTICS AG	米ドル	3.5
組入銘柄数		35

■ 1万口当たりの費用明細

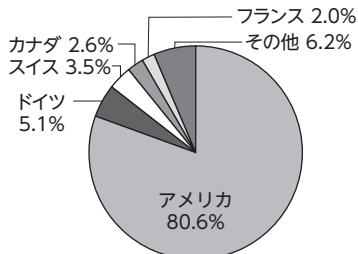
2024.5.21~2024.11.18

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
有価証券取引税 (株式)	3 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	8

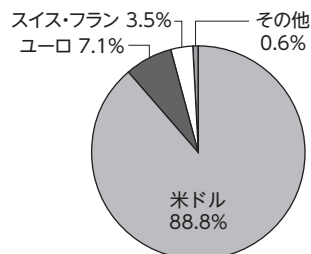
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年11月18日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	参考指数	期中 騰落率	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
	円	円	%	円		%	%	百万円
2期(2022年11月18日)	5,721	0	△ 6.0	5,721	8,413	△ 3.8	90.3	241
3期(2023年5月18日)	5,480	0	△ 4.2	5,480	8,782	4.4	101.5	177
4期(2023年11月20日)	4,494	0	△18.0	4,494	9,160	4.3	97.4	166
5期(2024年5月20日)	4,824	0	7.3	4,824	10,471	14.3	98.4	164
6期(2024年11月18日)	4,240	0	△12.1	4,240	11,019	5.2	101.0	122

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配額）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		参考指数	騰落率		株式 組入比率
			%			%	
(期首)2024年5月20日	円 4,824		% -	10,471		% -	% 98.4
5月末	4,621	△	4.2	10,312	△	1.5	99.3
6月末	4,525	△	6.2	10,622	1.4		100.0
7月末	4,906		1.7	10,533	0.6		94.8
8月末	5,008		3.8	10,726	2.4		95.6
9月末	4,937		2.3	10,941	4.5		98.7
10月末	4,654	△	3.5	10,963	4.7		101.3
(期末)2024年11月18日	4,240	△	12.1	11,019	5.2		101.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年5月21日～2024年11月18日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	37,745	29,633	72,414	55,266

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	18,101,061千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,846,445千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.96

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年5月21日～2024年11月18日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年11月18日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	213,562	178,893	126,728

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるグローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド全体の口数は21,616,885千口です。

投資信託財産の構成

2024年11月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	126,728	96.4
コール・ローン等、その他	4,776	3.6
投資信託財産総額	131,504	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月18日における邦貨換算レートは、1米ドル154.35円、1香港ドル19.83円、1スイス・フラン173.90円、1ユーロ162.78円です。

(注2) グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（15,457,249千円）の投資信託財産総額（15,849,817千円）に対する比率は97.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年11月18日現在)

項目	当期末
(A) 資産	266,035,913円
コール・ローン等	1,385,286
グローバル・デジタルヘルスケア株式 マザーファンド(評価額)	126,728,140
未収入金	137,922,487
(B) 負債	143,965,159
未払金	142,123,548
未払解約金	415,327
未払信託報酬	1,418,146
その他未払費用	8,138
(C) 純資産総額(A-B)	122,070,754
元本	287,926,066
次期繰越損益金	△165,855,312
(D) 受益権総口数	287,926,066口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,240円

- (注1) 期首元本額 340,690,100円
 期中追加設定元本額 30,728,540円
 期中一部解約元本額 83,492,574円
- (注2) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は165,855,312円です。

損益の状況

当期 (2024年5月21日～2024年11月18日)

項目	当期
(A) 配当等収益	547円
受取利息	547
(B) 有価証券売買損益	△ 15,359,468
売買益	21,698,797
売買損	△ 37,058,265
(C) 信託報酬等	△ 1,435,114
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 16,794,035
(E) 前期繰越損益金	△ 58,157,746
(分配準備積立金)	(276,779)
(繰越欠損金)	(△ 58,434,525)
(F) 追加信託差損益金*	△ 90,903,531
(配当等相当額)	(652,343)
(売買損益相当額)	(△ 91,555,874)
(G) 合計(D+E+F)	△ 165,855,312
次期繰越損益金(G)	△ 165,855,312
追加信託差損益金	△ 90,903,531
(配当等相当額)	(658,070)
(売買損益相当額)	(△ 91,561,601)
分配準備積立金	276,779
繰越欠損金	△ 75,228,560

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注5) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の一部を委託するために要する費用として信託約款に定める計算方法に基づき得た額を1月、4月、7月、10月の年4回に分けて委託者報酬の中から支弁しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	658,070円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	276,779円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	934,849円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	32.47円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配後)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	参考指数	期中 騰落率	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
	円	円	%	円		%	%	百万円
2期(2022年11月18日)	7,230	0	4.1	7,230	10,219	5.3	94.6	16,603
3期(2023年5月18日)	6,988	0	△ 3.3	6,988	10,789	5.6	98.4	16,805
4期(2023年11月20日)	6,481	0	△ 7.3	6,481	12,530	16.1	97.7	15,292
5期(2024年5月20日)	7,438	0	14.8	7,438	15,274	21.9	97.1	14,726
6期(2024年11月18日)	6,692	0	△10.0	6,692	16,267	6.5	97.3	10,068

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配後）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		参考指数	騰落率		株式 組入比率
	円		%			%	%
(期首)2024年5月20日	7,438		—	15,274		—	97.1
5月末	7,182	△	3.4	15,134	△	0.9	97.3
6月末	7,256	△	2.4	16,023		4.9	97.7
7月末	7,507		0.9	15,167	△	0.7	98.2
8月末	7,351	△	1.2	14,898	△	2.5	96.8
9月末	7,178	△	3.5	15,080	△	1.3	97.7
10月末	7,297	△	1.9	16,148		5.7	98.4
(期末)2024年11月18日	6,692	△	10.0	16,267		6.5	97.3

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年5月21日～2024年11月18日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	46,994	35,963	4,716,592	3,615,144

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	18,101,061千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,846,445千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.96

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年5月21日～2024年11月18日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年11月18日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	18,885,088	14,215,490	10,070,253

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるグローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド全体の口数は21,616,885千口です。

投資信託財産の構成

2024年11月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	10,070,253	97.2
コール・ローン等、その他	287,335	2.8
投資信託財産総額	10,357,589	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月18日における邦貨換算レートは、1米ドル154.35円、1香港ドル19.83円、1スイス・フラン173.90円、1ユーロ162.78円です。

(注2) グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（15,457,249千円）の投資信託財産総額（15,849,817千円）に対する比率は97.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年11月18日現在)

項目	当期末
(A) 資産	10,357,589,732円
コール・ローン等	117,225,953
グローバル・デジタルヘルスケア株式 マザーファンド(評価額)	10,070,253,758
未収入金	170,110,021
(B) 負債	289,005,711
未払解約金	168,360,688
未払信託報酬	120,240,138
その他未払費用	404,885
(C) 純資産総額(A-B)	10,068,584,021
元本	15,045,236,569
次期繰越損益金	△ 4,976,652,548
(D) 受益権総口数	15,045,236,569口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,692円

- (注1) 期首元本額 19,798,239,714円
 期中追加設定元本額 49,420,941円
 期中一部解約元本額 4,802,424,086円
- (注2) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は4,976,652,548円です。

損益の状況

当期 (2024年5月21日~2024年11月18日)

項目	当期
(A) 配当等収益	54,230円
受取利息	54,230
(B) 有価証券売買損益	△1,000,950,023
売買益	68,460,398
売買損	△1,069,410,421
(C) 信託報酬等	△ 120,645,023
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,121,540,816
(E) 前期繰越損益金	△1,465,044,358
(分配準備積立金)	(30,893,384)
(繰越欠損金)	(△1,495,937,742)
(F) 追加信託差損益金*	△2,390,067,374
(配当等相当額)	(5,649,216)
(売買損益相当額)	(△2,395,716,590)
(G) 合計(D+E+F)	△4,976,652,548
次期繰越損益金(G)	△4,976,652,548
追加信託差損益金	△2,390,067,374
(配当等相当額)	(5,655,344)
(売買損益相当額)	(△2,395,722,718)
分配準備積立金	30,893,384
繰越欠損金	△2,617,478,558

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注5) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の一部を委託するために要する費用として信託約款に定める計算方法に基づき得た額を1月、4月、7月、10月の年4回に分けて委託者報酬の中から支弁しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	5,655,344円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	30,893,384円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	36,548,728円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	24.29円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

各ファンドの概要

		年2回決算型・為替ヘッジあり	年2回決算型・為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／内外／株式		
信 託 期 間	2021年11月19日～2044年11月18日		
運 用 方 針	<p>グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。</p>		
		<p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	<p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド受益証券	
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	日本を含む各国の株式	
運用方法	グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p>		

グローバル・デジタルヘルスケア株式 マザーファンド

運用報告書

第 6 期

(計算期間：2024年5月21日～2024年11月18日)

運用方針	①主に、日本を含む各国の株式を主要投資対象とし、優れた技術・サービスにより、従来のヘルスケア産業のあり方を根本から変革し、健康・医療を取り巻く社会課題の解決をリードすると期待されるデジタルヘルスケア企業に投資を行います。	主要運用対象	日本を含む各国の株式
	②運用にあたっては、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用および外国為替予約取引の指図に関する権限を除きます。）を委託します。	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

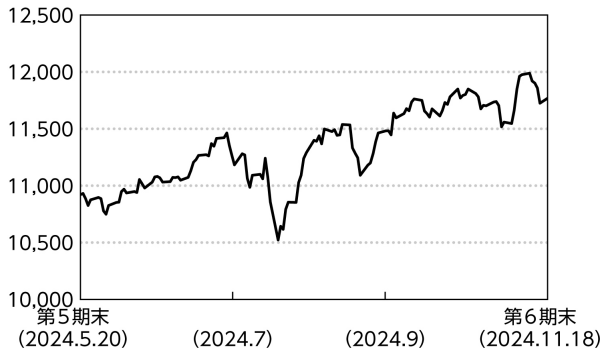
運用経過

2024年5月21日～2024年11月18日

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス
(配当込み、米ドルベース)の推移】

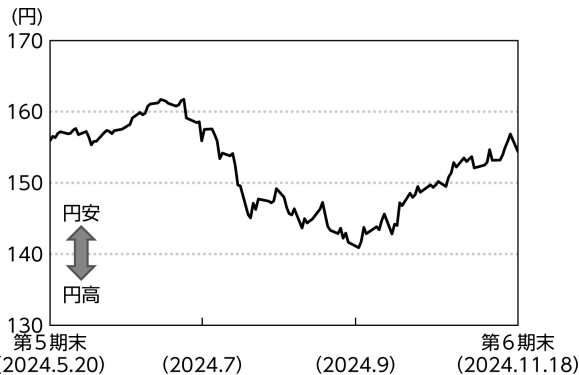


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じてみると上昇しました。期初から7月上旬にかけては、インフレの落ち着きを受けてFRBによる年内利下げ観測が再燃したことや生成AIの成長を支える半導体企業の決算発表が好感され株価は上昇しました。8月上旬に発表された米ISM製造業景況感指数や米雇用統計の悪化により、米景気後退懸念が高まったことや日銀による利上げと植田日銀総裁の金融引き締め姿勢を背景に円キャリートレードが縮小するとの見方からセンチメントが悪化し、日本株式市場が急落したことが株価の下落につながりました。当期末にかけては、欧米中央銀行による利下げや中国政府の景気刺激策および不動産市場支援策の発表、米大統領選で勝利したトランプ氏の減税、規制緩和等の政策への期待感などから株価は上昇しました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円レートは期を通じてみると米ドル安円高となりました。

期初以降、日銀金融政策決定会合で金融引き締めにより慎重な姿勢が示されたことなどから日米金利差が高い水準にとどまるとの見方が強まり、米ドル高円安基調で推移しました。7月から9月中旬にかけては、米消費者物価指数(CPI)でインフレの落ち着きが確認されたことを受けて、利下げ観測が高まったことなどから米ドル安円高基調となりました。9月下旬から当期末にかけては、米連邦公開市場委員会(FOMC)で利下げが決定されたものの、将来の利下げ幅が限定的となるとの見方が高まったことや、米大統領選でトランプ氏が勝利し、米国の財政拡張や関税引き上げ等に伴うインフレ再燃が意識され米金利が上昇したことなどから、米ドル高円安基調となりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 7月前半に、インフレの落ち着きを受けてF R Bによる年内利下げ観測が再燃したことや、生成A Iの成長を支える半導体企業の決算発表が好感され株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・ 8月上旬に、米I S M製造業景況感指数や米雇用統計の悪化により、米景気後退懸念が高まったことや日銀の利上げと植田日銀総裁の金融引き締め姿勢を受けて円キャリートレードが縮小するとの見方からセンチメントが悪化し、日本株をはじめ株価が下落したこと
- ・ 当期末に保有銘柄の決算内容が市場予想を下回ったことから株価が下落したこと

ポートフォリオ

日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における成長分野別配分は組入比率の高い順に、高度診断 (30.9%)、ヘルスビッグデータ (29.1%)、健康寿命の延伸 (24.5%)、標的療法 (15.4%) としています。

また、当期末におけるサブセクター別配分は組入比率の高い順に、ヘルスケア機器・用品 (34.9%)、ライフサイエンス・ツール/サービス (28.0%)、ヘルスケア・テクノロジー (16.5%) としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、アメリカ (82.9%)、ドイツ (5.2%)、スイス (3.6%) としています。

(注1) 比率は対組入株式等評価額比です。

(注2) 成長分野はラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーの分類によるものです。

(注3) サブセクターはG I C S分類 (産業) によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

当期の基準価額騰落率は-9.2%となり、参考指数騰落率（+6.5%）を下回りました。

これはヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことなどによるものです。

（注1）参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

（注2）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

今後の運用方針

米国では景気の底堅さを示す経済指標の発表を受け、大幅利下げ観測が後退しています。これを受けて米金利が上昇傾向にあることや、高金利水準が長期間継続することによるコスト増加への懸念などが株式市場の重荷となっています。なお、ヘルスケア関連銘柄については7月以降、株式市場全体を上回る水準で上昇してきたことなどから現在売り圧力が強まっていると考えます。また、足元では企業の決算発表時期を迎えており、その内容に株価が大きく反応する場面も見られています。

先進国における少子高齢化などを背景として、世界的にヘルスケア関連の支出額が持続不可能と思われる水準に達してきていることもあり、こうした課題を解決するためにヘルスケア産業におけるデジタル化という大きな流れは今後も進むと考えています。

当マザーファンドでは、今後も革新的な製品・サービスの創出が期待されるデジタルヘルスケア企業への投資を継続します。従来のヘルスケア産業とデジタルテクノロジーが融合することで新たな巨大市場が切り開かれると考えており、引き続き、従来のヘルスケア産業に大きな変革をもたらし、社会的課題の解決に貢献していくと期待される「ヘルスビッグデータ」、「高度診断」、「標的療法」、「健康寿命の延伸」の4つの成長分野に着目し、各成長分野において中長期的な成長が期待される銘柄を厳選して投資します。なお、注目する4つの成長分野の組入比率は各々20~40%程度を目安として運用を行います。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指数	期中	株式 組入比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率		
	円	%		%	%	百万円
2期(2022年11月18日)	7,367	5.1	10,219	5.3	94.6	25,040
3期(2023年5月18日)	7,188	△2.4	10,789	5.6	98.4	25,199
4期(2023年11月20日)	6,731	△6.4	12,530	16.1	97.7	22,595
5期(2024年5月20日)	7,799	15.9	15,274	21.9	97.1	22,253
6期(2024年11月18日)	7,084	△9.2	16,267	6.5	97.3	15,314

(注1) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注2) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式 組入比率
		%		%	
(期首)2024年5月20日	7,799	—	15,274	—	97.1
5月末	7,535	△3.4	15,134	△0.9	97.3
6月末	7,624	△2.2	16,023	4.9	97.7
7月末	7,901	1.3	15,167	△0.7	98.2
8月末	7,749	△0.6	14,898	△2.5	96.8
9月末	7,579	△2.8	15,080	△1.3	97.7
10月末	7,717	△1.1	16,148	5.7	98.4
(期末)2024年11月18日	7,084	△9.2	16,267	6.5	97.3

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2024年5月21日～2024年11月18日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)	0.049% (0.049)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	3 (3)	0.044 (0.044)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.011 (0.011)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	8	0.104	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（7,657円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年5月21日～2024年11月18日

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株 21,490 (38)	千米ドル 40,597	百株 28,465	千米ドル 62,942
	香港	–	千香港ドル –	8,355	千香港ドル 13,663
	スイス	–	千スイス・フラン –	543	千スイス・フラン 7,282
	ユーロ	–	千ユーロ –	194	千ユーロ 771
	ドイツ	214	2,164	8	82
		–	–	422	2,124

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年5月21日～2024年11月18日

株式

銘柄	買付			銘柄	売付		
	株数	金額	平均単価		株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
INARI MEDICAL INC	81	573,715	7,036	HALOZYME THERAPEUTICS INC	161	1,325,356	8,198
MARAVAI LIFESCIENCES HLDGS-A	472	563,243	1,191	LANTHEUS HOLDINGS INC	73	1,091,400	14,885
DEXCOM INC	38	445,130	11,498	NOVARTIS AG	49	818,255	16,525
SCHRODINGER INC	133	417,105	3,126	DOXIMITY INC-CLASS A	138	799,060	5,770
RECURSION PHARMACEUTICALS-A	365	371,542	1,015	INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	21	564,385	26,732
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR	19	362,349	18,237	TRANSMEDICS GROUP INC	25	554,901	21,394
SANOFI	21	360,918	16,808	PHREESIA INC	150	531,678	3,538
ELI LILLY & CO	2	342,751	131,272	GUARDANT HEALTH INC	109	481,123	4,411
TRANSMEDICS GROUP INC	20	339,918	16,357	LONZA GROUP AG	4	440,700	91,889
LANTHEUS HOLDINGS INC	26	339,006	13,013	OMNICELL INC	66	389,115	5,879

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2024年11月18日現在

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
10X GENOMICS INC-CLASS A	648	1,274	1,700	262,491	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ABCELLERA BIOLOGICS INC	8,230	9,625	2,550	393,694	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACCOLADE INC	891	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	1,589	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEAM THERAPEUTICS INC	472	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CRISPR THERAPEUTICS AG	733	735	3,476	536,636	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DEXCOM INC	221	523	3,971	613,021	ヘルスケア機器・サービス
DOXIMITY INC-CLASS A	2,220	1,035	5,115	789,633	ヘルスケア機器・サービス
ELI LILLY & CO	—	25	1,910	294,850	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EVOLENT HEALTH INC - A	1,356	1,649	2,041	315,126	ヘルスケア機器・サービス
EXACT SCIENCES CORP	931	901	4,448	686,554	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	538	410	3,357	518,213	ヘルスケア機器・サービス
GUARDANT HEALTH INC	1,604	513	1,496	230,924	ヘルスケア機器・サービス
HALOZYME THERAPEUTICS INC	1,616	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HEALTH CATALYST INC	2,431	1,011	773	119,402	ヘルスケア機器・サービス
ILLUMINA INC	242	185	2,498	385,694	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INARI MEDICAL INC	—	680	3,441	531,167	ヘルスケア機器・サービス
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	444	290	5,025	775,616	ヘルスケア機器・サービス
INTELLIA THERAPEUTICS INC	808	1,134	1,585	244,676	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IQVIA HOLDINGS INC	225	217	4,183	645,658	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LANTHEUS HOLDINGS INC	1,203	731	5,616	866,942	ヘルスケア機器・サービス
MARAVAI LIFESCIENCES HLDGS-A	—	3,959	1,750	270,127	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MAXCYTE INC	4,158	3,168	1,083	167,279	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	654	386	3,386	522,684	ヘルスケア機器・サービス
NEVRO CORP	1,424	1,844	833	128,654	ヘルスケア機器・サービス
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR	—	190	1,940	299,529	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
OMNICELL INC	1,178	516	2,360	364,413	ヘルスケア機器・サービス
OUTSET MEDICAL INC	4,735	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
PHREESIA INC	1,948	445	803	124,037	ヘルスケア機器・サービス
RECURSION PHARMACEUTICALS-A	2,537	4,997	3,085	476,295	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RENALYTIX AI PLC-ADR	1,134	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
SCHRODINGER INC	2,148	2,879	5,338	824,037	ヘルスケア機器・サービス

グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等	
			株数	株数	評価額		
					外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円		
TEMPUS AI INC		–	231	1,211	187,033	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		113	86	4,460	688,511	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TRANSMEDICS GROUP INC		448	396	3,194	493,144	ヘルスケア機器・サービス	
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A		182	87	1,865	287,892	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額	47,074	40,138	84,508	13,043,947		
	銘柄数<比率>	31	30	–	<85.2%>		
(香港)				千香港ドル			
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC		16,245	7,890	11,850	235,000	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額	16,245	7,890	11,850	235,000		
	銘柄数<比率>	1	1	–	<1.5%>		
(スイス)				千スイス・フラン			
LONZA GROUP AG		108	60	3,106	540,251	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NOVARTIS AG		495	–	–	–	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額	603	60	3,106	540,251		
	銘柄数<比率>	2	1	–	<3.5%>		
(ユーロ/オランダ)				千ユーロ			
QIAGEN NV		816	622	2,440	397,210	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額	816	622	2,440	397,210		
	銘柄数<比率>	1	1	–	<2.6%>		
(ユーロ/フランス)							
SANOFI		–	206	1,882	306,439	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額	–	206	1,882	306,439		
	銘柄数<比率>	–	1	–	<2.0%>		
(ユーロ/ドイツ)							
SIEMENS HEALTHINEERS AG		889	466	2,342	381,320	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額	889	466	2,342	381,320		
	銘柄数<比率>	1	1	–	<2.5%>		
ユーロ計	株数・金額	1,706	1,295	6,665	1,084,971		
	銘柄数<比率>	2	3	–	<7.1%>		
合計	株数・金額	65,630	49,384	–	14,904,171		
	銘柄数<比率>	36	35	–	<97.3%>		

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2024年11月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	14,904,171	94.0
コール・ローン等、その他	945,646	6.0
投資信託財産総額	15,849,817	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月18日における邦貨換算レートは、1米ドル154.35円、1香港ドル19.83円、1スイス・フラン173.90円、1ユーロ162.78円です。

(注2) 外貨建純資産（15,457,249千円）の投資信託財産総額（15,849,817千円）に対する比率は97.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年11月18日現在)

項目	当期末
(A)資産	16,061,401,931円
コール・ローン等	583,068,154
株式(評価額)	14,904,171,678
未収入金	573,699,790
未収配当金	462,309
(B)負債	747,209,099
未払金	480,735,000
未払解約金	266,474,099
(C)純資産総額(A-B)	15,314,192,832
元本	21,616,885,753
次期繰越損益金	△ 6,302,692,921
(D)受益権総口数	21,616,885,753口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,084円

(注1) 期首元本額 28,532,600,334円
 期中追加設定元本額 142,633,874円
 期中一部解約元本額 7,058,348,455円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年1回決算型・為替ヘッジあり) 61,545,299円
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年1回決算型・為替ヘッジなし) 7,160,956,068円
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年2回決算型・為替ヘッジあり) 178,893,479円
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年2回決算型・為替ヘッジなし) 14,215,490,907円

(注3) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は6,302,692,921円です。

損益の状況

当期 (2024年5月21日～2024年11月18日)

項目	当期
(A)配当等収益	22,272,476円
受取配当金	10,042,640
受取利息	12,229,836
(B)有価証券売買損益	△1,656,340,756
売却益	1,915,150,359
売却損	△3,571,491,115
(C)信託報酬等	△ 2,118,339
(D)当期損益金(A+B+C)	△1,636,186,619
(E)前期繰越損益金	△6,279,507,766
(F)追加信託差損益金	△ 32,979,324
(G)解約差損益金	1,645,980,788
(H)合計(D+E+F+G)	△6,302,692,921
次期繰越損益金(H)	△6,302,692,921

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・MSCIワールド・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- ・MSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。